

記入上の注意事項 [記入例ならびにコード No.]

◎黒インクまたは黒ボールペンにてご記入下さい。

2. 団体種類 主たる活動の内容・目的から下記区分にて記入ください。

団体の種類名	コード	団体の種類名	コード
伝統芸能保存伝承団体	2	自然体験・アドベンチャークラブ	11
ジュニアリーダー・ボランティア団体	3	科学・工芸・工作活動団体	12
スポーツ少年団・スポーツクラブ	4	自然観察団体	13
武道団体	5	人形劇・おはなし団体	15
ボーイスカウト・ガールスカウト	6	心身障がい児(者)関連団体	18
海洋・宇宙・交通等少年団	7	子育てサークル	22
みどりの少年団・自然保護団体	8	フリースクール	23
音楽・演劇団体	9	その他	20
子ども文庫活動団体	10		

3. 団体連絡先住所

- ・団体連絡先住所は、決定連絡文書や手続要領等の送付先となり、団体連絡先電話番号は、当財団からの連絡先・照会先となります。
- また助成後3年間にわたって当財団から交流紙「元気っこFORUM」を団体連絡先住所宛送付しますので、確実に連絡がとれる住所・電話番号を記入ください。
- ・団体連絡先住所が個人宅である場合は氏名を、勤務先である場合は勤務先名および氏名を記入ください。

6. 団体の構成員

- ・団体に所属し、実際に活動している児童・少年および指導者の内訳を記入ください。
- ・「小計」には「～小学生」～「高校生」の合計、「合計」には「小計」「指導者」「その他」の合計を記入ください。
- ・子育て支援活動・療育支援活動・フリースクール活動の場合は、「その他」欄の()内に「保護者」「ボランティア」等記入の上、人数を記入ください。

7. 主な指導者(複数名)の氏名・職業 (例: 学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生)	8. 主な収入源と金額 (過去2年分) (会費、活動資金の主なもの、補助金等)
(上記4に記載の代表者) 日生 花子 ○○市役所勤務	会員から徴収する会費 6000円 (1人当り/年)
(主な指導者) 日生 太郎 財団 一郎 財団 一子	H27年度 会費 15万円 補助金(○○市) 3万円 助成金(○○財団) 5万円 バザー収益 3万円 寄付 1万円 謝礼 1万円
	H28年度(見込み) 18万円 (○○市) 2万円 なし 4万円 2万円 1万円
記入例	合計 28万円 27万円

9. 日常活動の場所・曜日	○○公民館・・・毎月第2土曜日(定例会) △△山周辺等・・・毎月第1・4土曜日	記入例
---------------	--	------------

10-(a) 活動の名称

活動の名称例	コード
野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成	1
野外活動を通してのジュニアリーダー育成活動	4
異年齢集団の交流活動	5
児童・少年の居場所づくり支援活動	6
障がいのある子どもたちの療育支援・ノーマライゼーション推進活動	7
郷土芸能の保存・伝承活動を通しての児童の健全育成	8
地域に根ざした文庫・読み聞かせ・人形劇を通しての児童の健全育成	9
音楽を通してのボランティア活動と児童の健全育成	10
創作太鼓・和太鼓演奏活動を通しての児童の健全育成	11
剣道・柔道等を通しての児童の健全育成	12
地域に根ざしたスポーツ活動を通しての児童の健全育成	13
子育てサークル・子育て支援ネットワーク活動	16
フリースクールの運営、不登校の子どもたちへの教育支援活動	17

10-(c) H28年度の活動実績(月別実施状況等)	10-(a)～(d)では
定例会(おはなし会) 毎月1回 4月 お花見・町探索 5月・・・ 6月・・・	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が当財団の助成趣旨にかなっているか ・子どもの健全育成のための活動であるか ・日常活動が伴い継続性があるか ・活動の推進のために助成が効果的であるか ・目的を達成するために適切であるか
○○会への訪問交流活動 (年3回)	記入例

等を判断します。

11. 助成物品の名称 下記例を参考にして、各種助成申請物品のうち、代表物品を記入ください。

キャンプ用テント・用具一式	ビオトープ観察用具一式
農作業用具一式	天体望遠鏡1台/双眼鏡・フィールドスコープ等一式
子ども用遊具一式/療育遊具一式	楽器一式/ミュージックベル4セット
絵本・紙しばい/児童図書/書架一式	エプロンシアター/人形劇用具一式
宮太鼓・桶胴太鼓一式/長胴太鼓2台	剣道防具一式

*申請後の内容変更は認められませんので、見積書等を取り寄せ、助成希望物品・金額を十分検討のうえ申請ください。

平成29年度 児童・少年の健全育成助成申請書

1. 団体名 (正式名称)	(ふりがな) ()		設立・発足年月		10-(a) 活動の名称 (裏面参照)	コードNo. (裏面参照)
			昭和 平成	年 月		
2. 団体種類 (裏面参照)	コードNo.(裏面参照)		助成 成団 歴の	なし・あり↓ 昭和 平成	活動の趣旨・目的・方法を記入ください。	
				年		
3. 団体連絡先 住所	(ふりがな) _____		電話(勤務先・自宅) ()		10-(b) 団体の活動と地域 とのかかわりの状況	
	_____		FAX(勤務先・自宅) ()			
	[団体所在地・代表者自宅・その他()] 様方・内・気付		メールアドレス @		10-(c) H28年度の活動実績(月別実施状況等)	
	最寄駅 _____ 線 _____ 駅から 徒歩・バス・タクシー _____ 分					
4. 代表者	(ふりがな) _____	氏名 _____ 印	<自宅> 電話 ()		10-(d) 助成により期待される活動の広がり・効果	
	(ふりがな) _____	住所 _____	FAX ()			
			<日中連絡先> 電話 ()			
			FAX ()			
5. 当申請に 関する担当者 日中連絡先	(ふりがな) _____		電話(勤務先・自宅) ()			
	役職 _____ 氏名 _____		FAX(勤務先・自宅) ()			
			メールアドレス @			
6. 団体の 構成員	~小学生	中学生	高校生	小計	指導者	その他() 合計
7. 主な指導者(複数名)の氏名・職業 (例: 学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生)		8. 主な収入源と金額(過去2年分) (会費、活動資金の主なもの、補助金等)				
(上記4に記載の代表者)		会員から徴収する会費 _____ 円(1人当り/年)				
(主な指導者)		H27年度		H28年度(見込み)		
		会費				
		補助金 ()		()		
		助成金 ()		()		
		合計				
9. 日常活動の場所・曜日						
		①物品購入総額(11の合計金額) _____ 円				
		②助成申請額 (60万円以下。物品購入総額が60万円を超える場合、総額の6割以上) _____ 万円(万円未満切上)				

(注) 1. 記入にあたっては裏面の記入例ならびにコードNo.を参照ください。
2. 申請書等に記載の情報については助成選考にのみ使用します。また、助成決定分については結果の公表、当財団作成資料に使用させていただきます。
3. 記載紙面の追加(別紙参照含む)や相違紙の追加はご遠慮ください。